

東北厚生局管内における保険医療機関及び保険薬局の 指定及び廃止等状況について

厚生労働省 東北厚生局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

用語の解説

保険医療機関、保険薬局

健康保険法第63条第3項第1号に規定する厚生労働大臣の指定を受け、健康保険法等で規定する療養の給付を行う病院若しくは診療所（保険薬局においては薬局）

新規指定保険医療機関、新規指定保険薬局

保険医療機関（保険薬局）として新規に指定を受けた機関（以下、文中「新規指定機関」との略称を用いている部分はこれにあたります。）

廃止等保険医療機関、廃止等保険薬局

機関を廃止、保険診療（薬局においては「保険調剤」）を辞退（ ）した保険医療機関（保険薬局）（以下、文中「廃止等機関」との略称を用いている部分はこれにあたります。）

保険診療（保険調剤）を行わないことを地方厚生(支)局に届出し受理された状態を示します。

東北平均

東北6県（東北厚生局管内）の平均を示します。

本資料の数値について

機関数

保険医療機関または保険薬局より東北厚生局に届出された件数をもとに、令和4年3月15日時点で集計した機関数となっています。

このため、当局がホームページ上に掲載している機関数と異なる場合があります。

医科併設数及び歯科併設数は、新規指定保険医療機関数、廃止等保険医療機関数の数値に計上されていません。

このため、新規指定保険医療機関数と廃止等保険医療機関数の差が、総保険医療機関数の増減と一致しない場合があります。

人口総数

令和2年国勢調査

1

宮城県（指導監査課）

医科



宮城県

医科（新規指定）

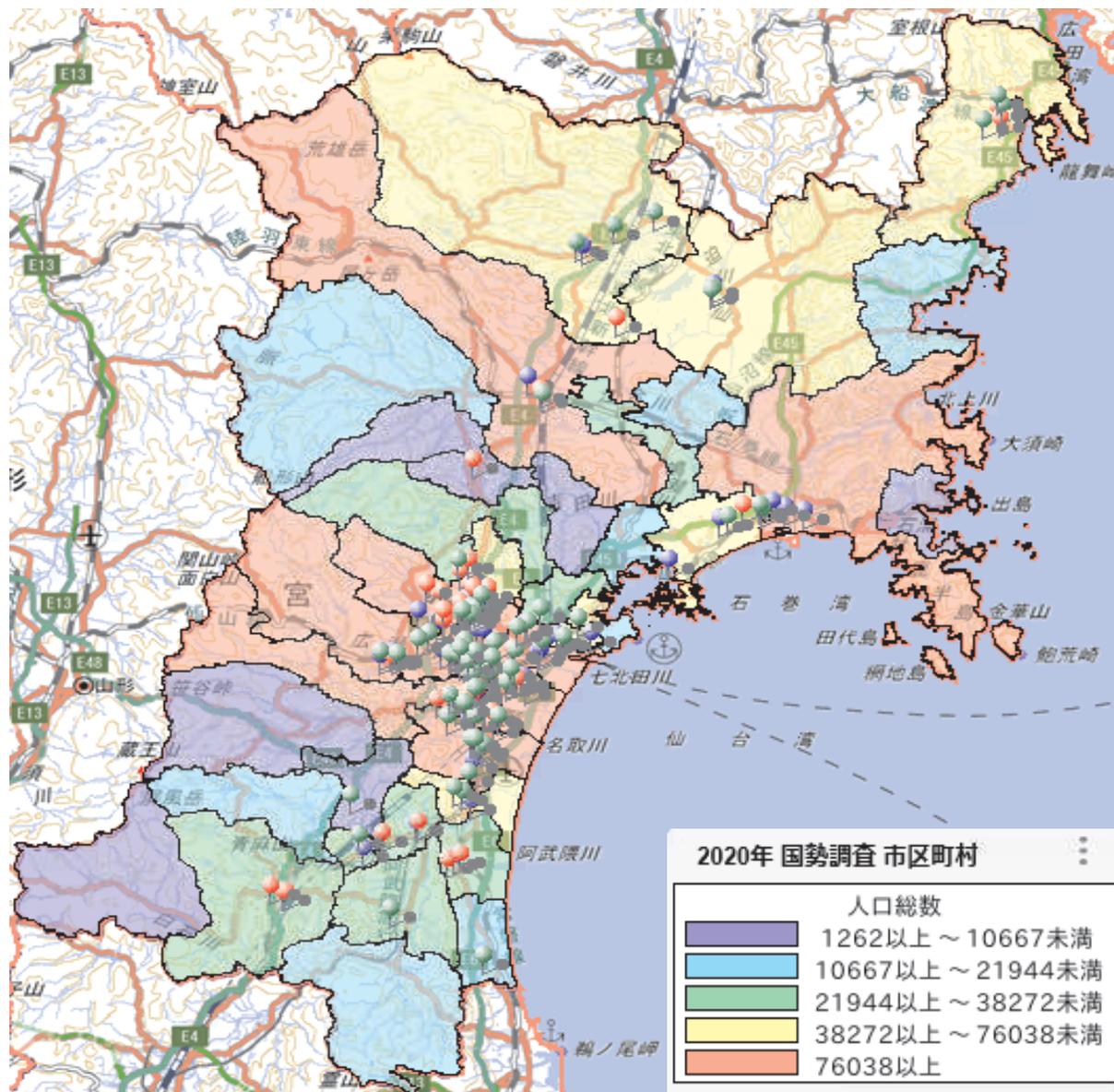
分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の新規指定機関は、宮城県の人口集中地域である仙台市及び管内の主要交通網である東北自動車道沿いに集中している。
- 宮城県北部の自治体においては、人口総数に比例して新規指定機関が少なくなる傾向にある。
- 宮城県南部の自治体においては、人口総数が少なく、新規指定機関も少ない。

新規指定保険医療機関（医科）

- ：平成30年度
- ：令和元年度
- ：令和2年度

宮城県内の新規指定保険医療機関状況及び県内の人口総数



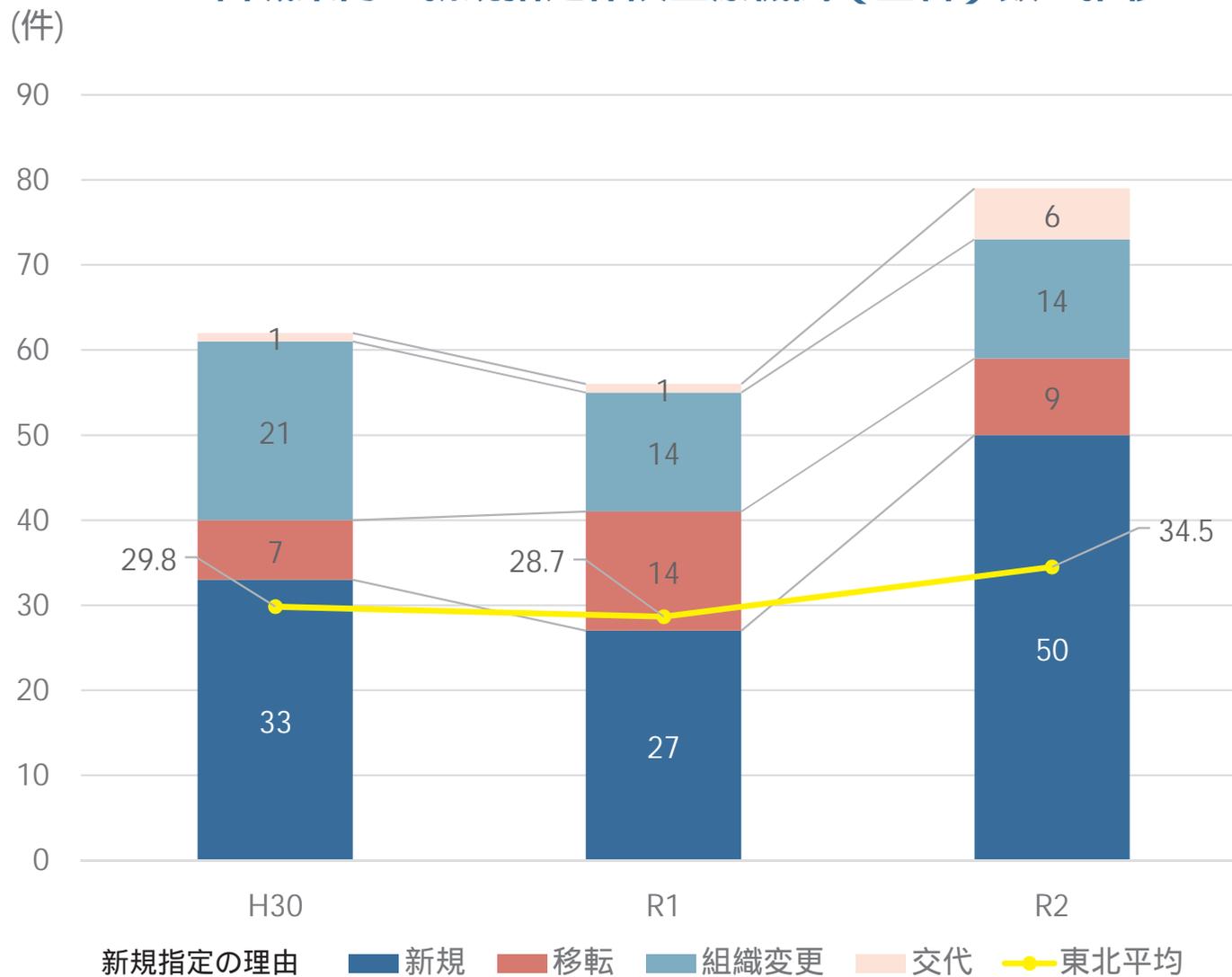
宮城県

医科（新規指定）

分析結果

- 宮城県内における新規指定機関数は、平成30年度62件、令和元年度56件、令和2年度79件と推移しており、令和2年度の件数の増加が顕著である。
- 宮城県の新規指定機関数は、東北平均を大きく上回っている。

宮城県内の新規指定保険医療機関（医科）数の推移



宮城県

医科（廃止等）

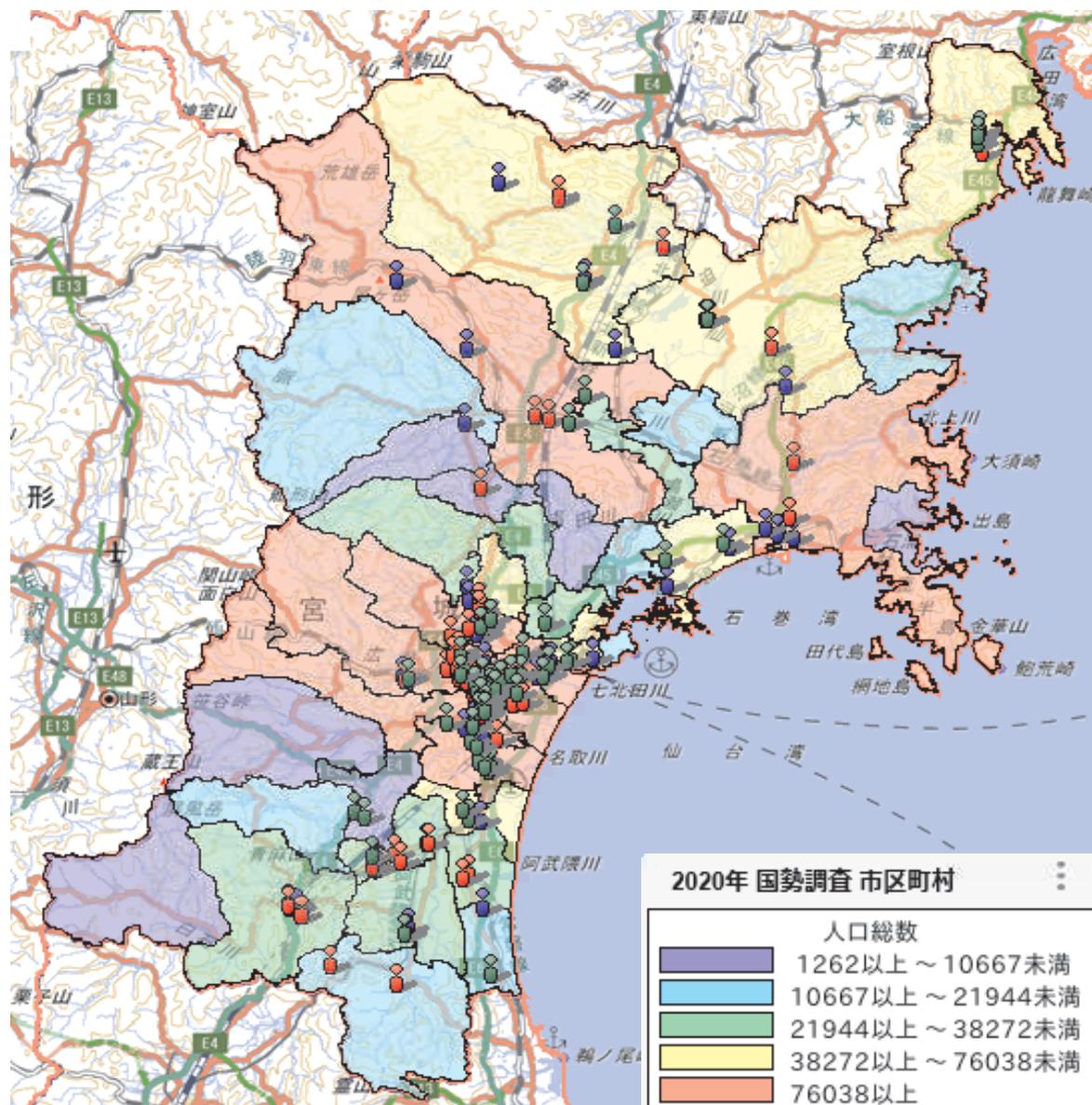
分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の廃止等機関は、人口総数の多少にかかわらず宮城県内各地に幅広く確認された。
- 人口総数の最も多い区分の地域（赤色）においては、117件の廃止等機関が確認された。
- 12自治体では、廃止等機関はないことが確認できる。

廃止等保険医療機関（医科）

- ：平成30年度
- ：令和元年度
- ：令和2年度

宮城県内の廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数



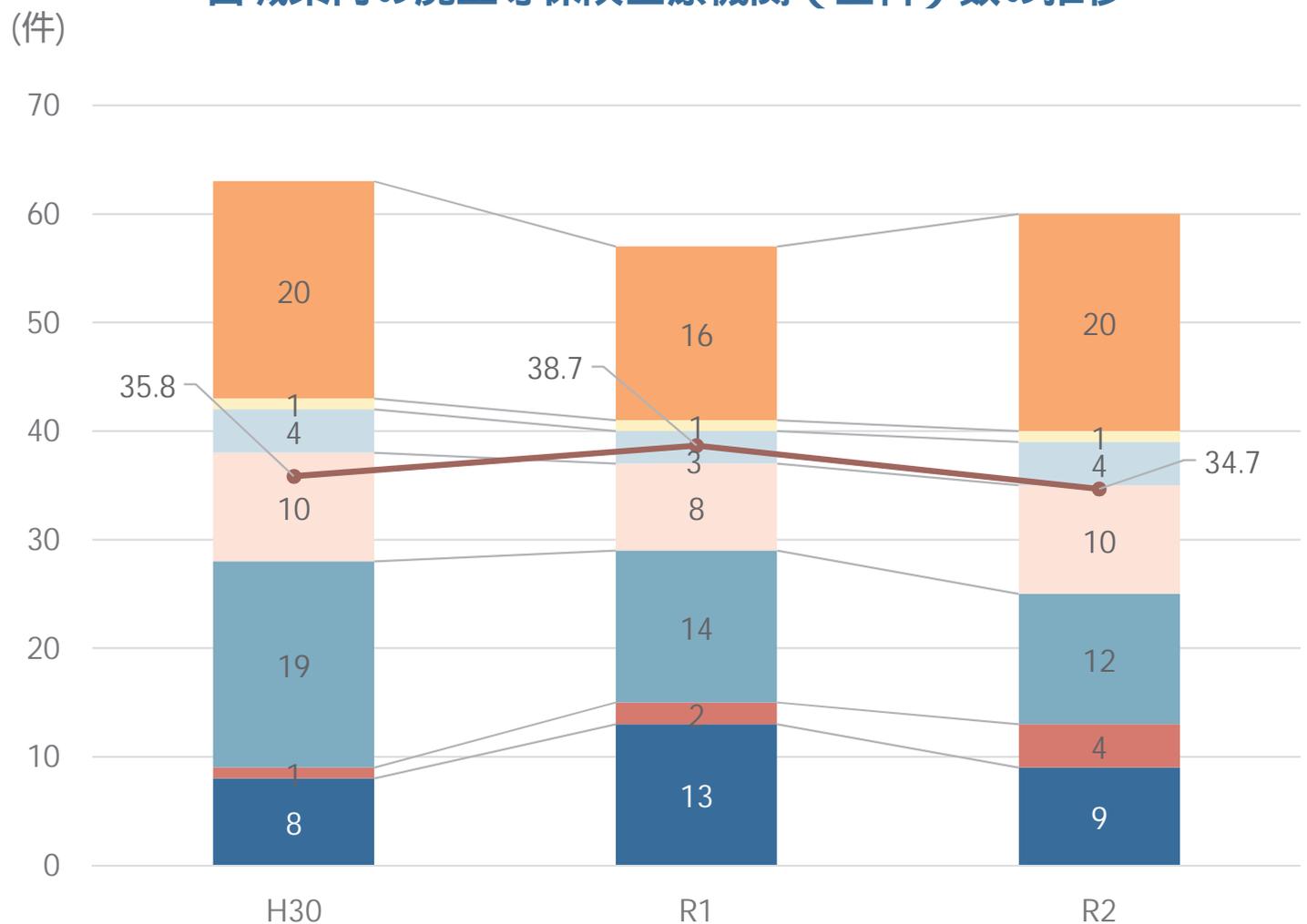
宮城県

医科（廃止等）

分析結果

- 宮城県内における廃止等機関数は、平成30年度63件、令和元年度57件、令和2年度60件とおおむね同程度の件数で推移している。
- 宮城県においては、廃止等の理由として「法人化」や「移転」が多く、保険医療機関を廃止したものの、改めて同地や近隣において新規指定を受けていると推察される。
- 宮城県の廃止等機関数は、東北平均を大きく上回っている。

宮城県内の廃止等保険医療機関（医科）数の推移



廃止等の理由 ■ 移転 ■ 事業譲渡等 ■ 法人化 ■ 高齡 ■ 死亡 ■ 辞退 ■ その他 ● 東北平均

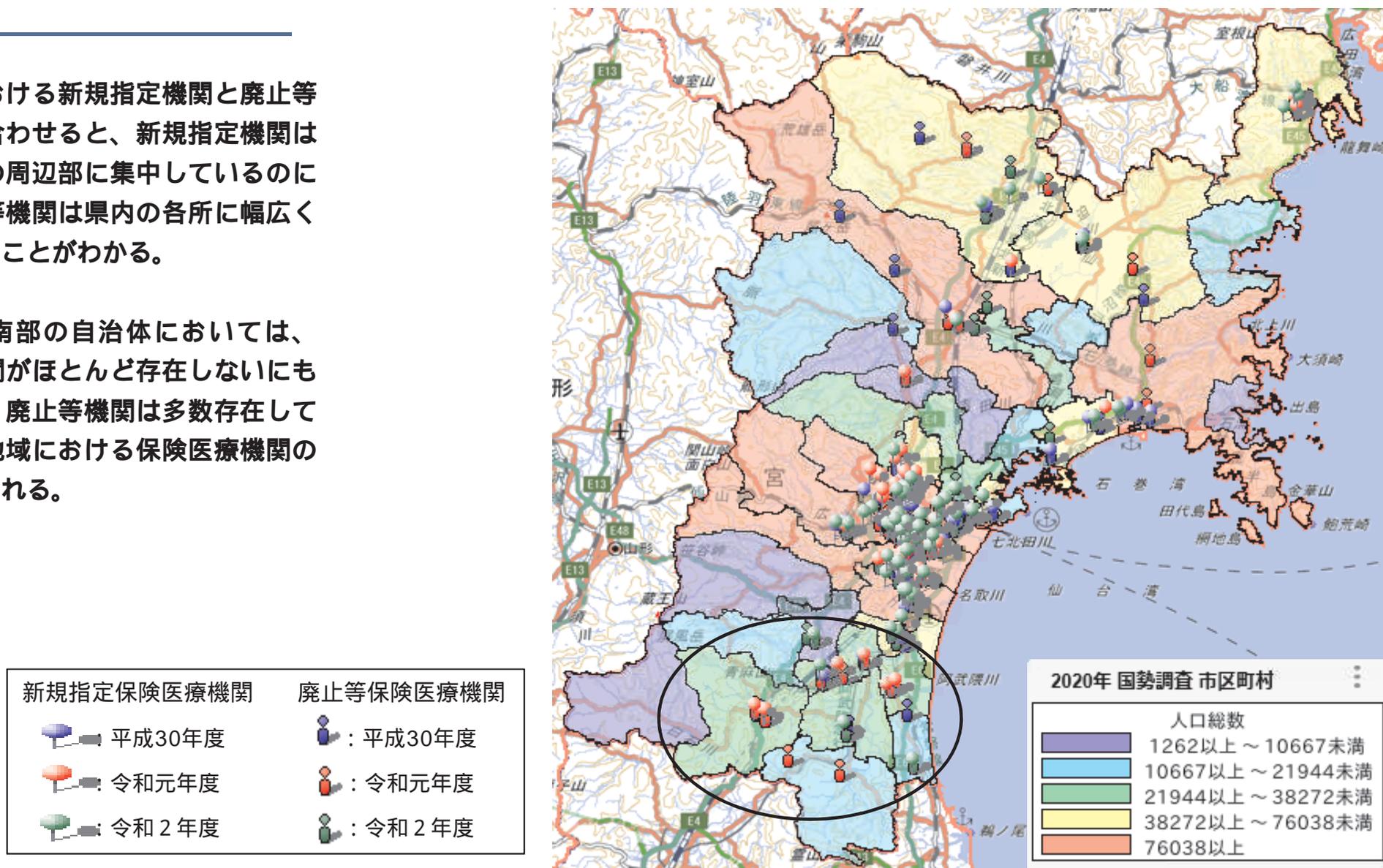
宮城県

医科（総合）

分析結果

- 宮城県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、新規指定機関は仙台市とその周辺部に集中しているのに対し、廃止等機関は県内の各所に幅広く分布していることがわかる。
- 特に宮城県南部の自治体においては、新規指定機関がほとんど存在しないにもかかわらず、廃止等機関は多数存在しており、県南地域における保険医療機関の減少が懸念される。

宮城県内の新規指定・廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数



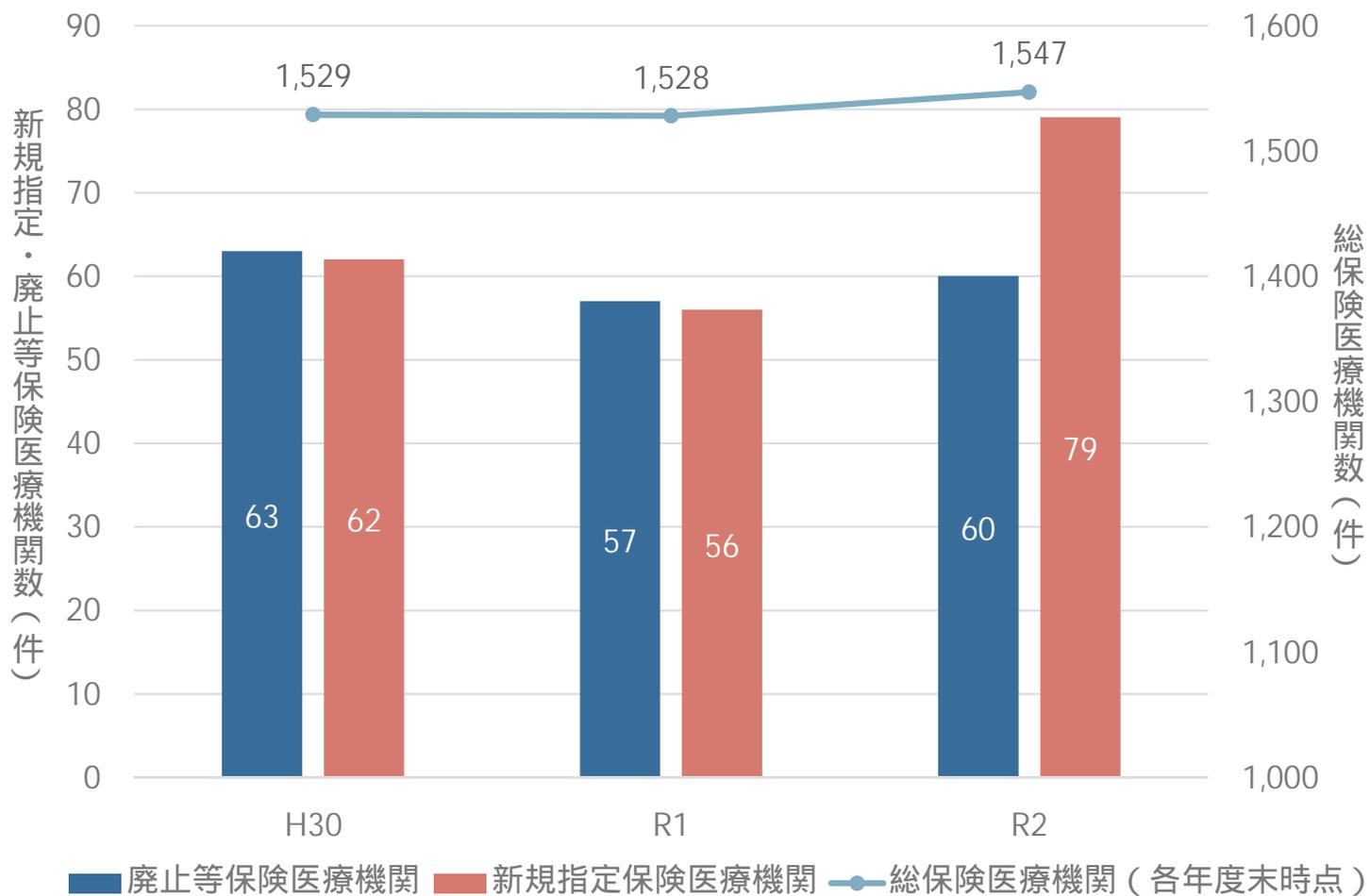
宮城県

医科（総合）

分析結果

- 宮城県内における保険医療機関の総数は、平成30年度1,529件、令和元年度1,528件、令和2年度1,547件とおおむね同程度の件数で推移しているものの、増加傾向にある。
- 令和2年度において、新規指定機関数が廃止等機関数を上回っているが、人口の少ない地域では、新規指定機関が少ない一方で廃止等機関が多く、人口集中地域である仙台市周辺へ集中する傾向がある。

宮城県内の新規指定・廃止等保険医療機関（医科）数と 総保険医療機関（医科）数の推移



宮城県（指導監査課）

歯科



宮城県

歯科（新規指定）

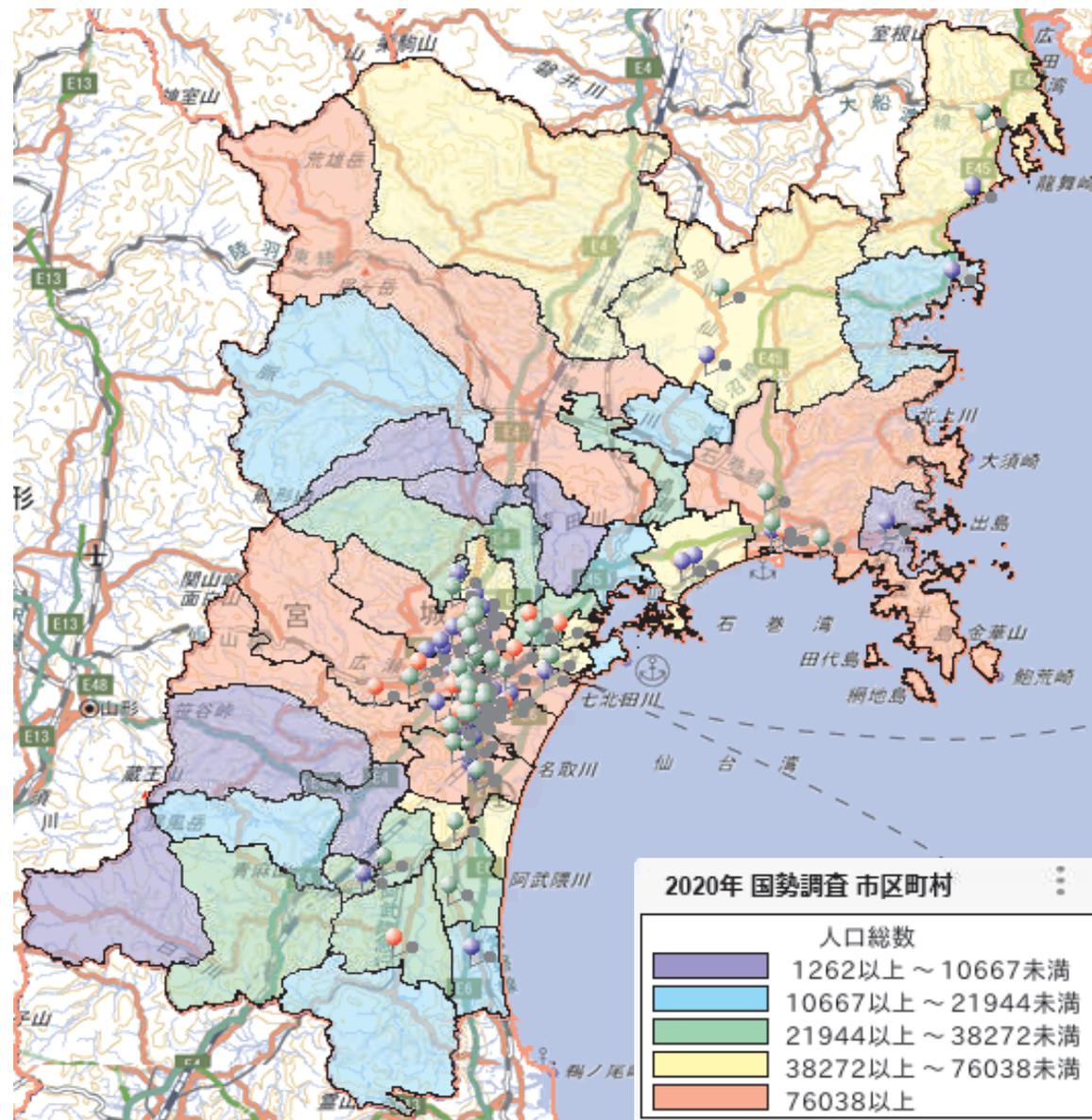
分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の新規指定機関は、宮城県の人口集中地域である仙台市に集中している。仙台市以外では石巻港や仙台湾沿いの沿岸部に新規指定機関が複数ある。
- 宮城県北部の自治体においては、新規指定機関は医科と比較して少ない傾向にあり、過去3年間で1件も指定がない自治体が複数ある。
- 宮城県南部の自治体においては、人口総数が少なく、新規指定機関も少ない。

新規指定保険医療機関（歯科）

- ：平成30年度
- ：令和元年度
- ：令和2年度

宮城県内の新規指定保険医療機関状況及び県内の人口総数



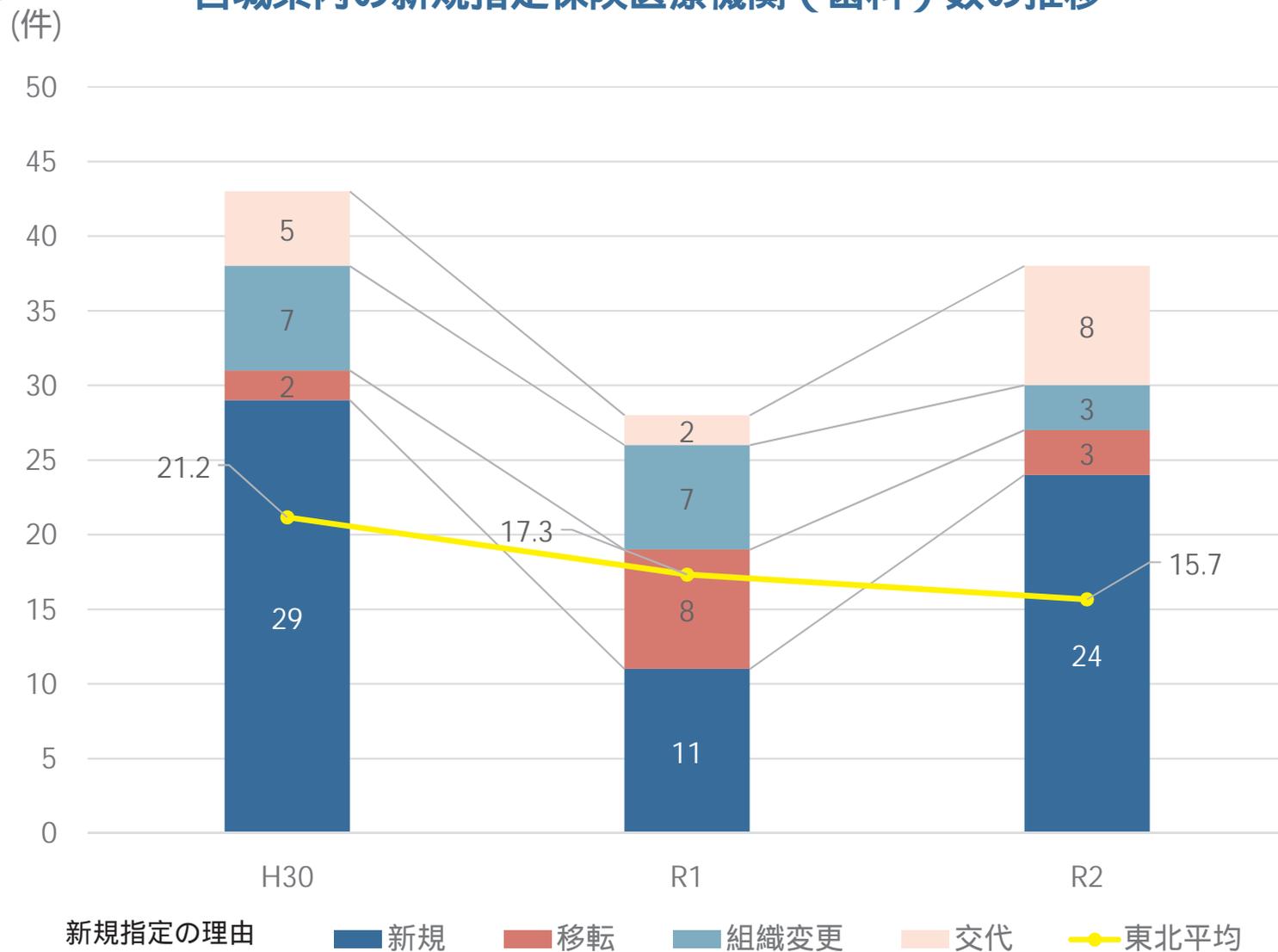
宮城県

歯科（新規指定）

分析結果

- 宮城県内における新規指定機関数は平成30年度43件、令和元年度28件、令和2年度38件とおおむね同程度の件数で推移している。
- 宮城県の新規指定機関数は、東北平均を大きく上回っている。

宮城県内の新規指定保険医療機関（歯科）数の推移



宮城県

歯科（廃止等）

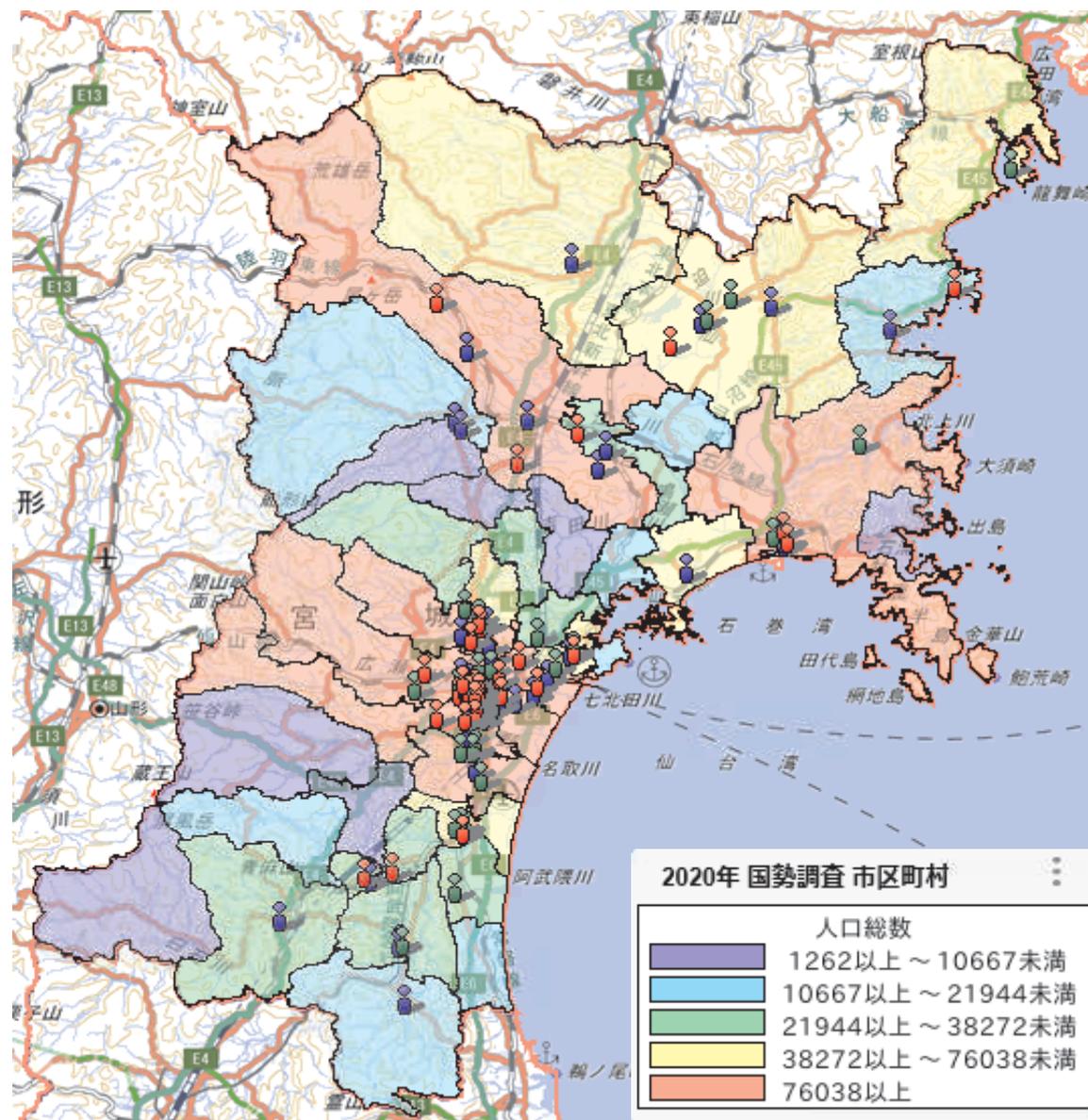
分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の廃止等機関は、人口総数の多少に関わらず宮城県内各地に幅広く確認された。
- 新規指定機関の少ない宮城県北部の山間部や同県北部の沿岸部の地域においても、廃止等機関は多く確認され、これらの地域における保険医療機関の減少が懸念される。

廃止等保険医療機関（歯科）

- 平成30年度
- 令和元年度
- 令和2年度

宮城県内の廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数



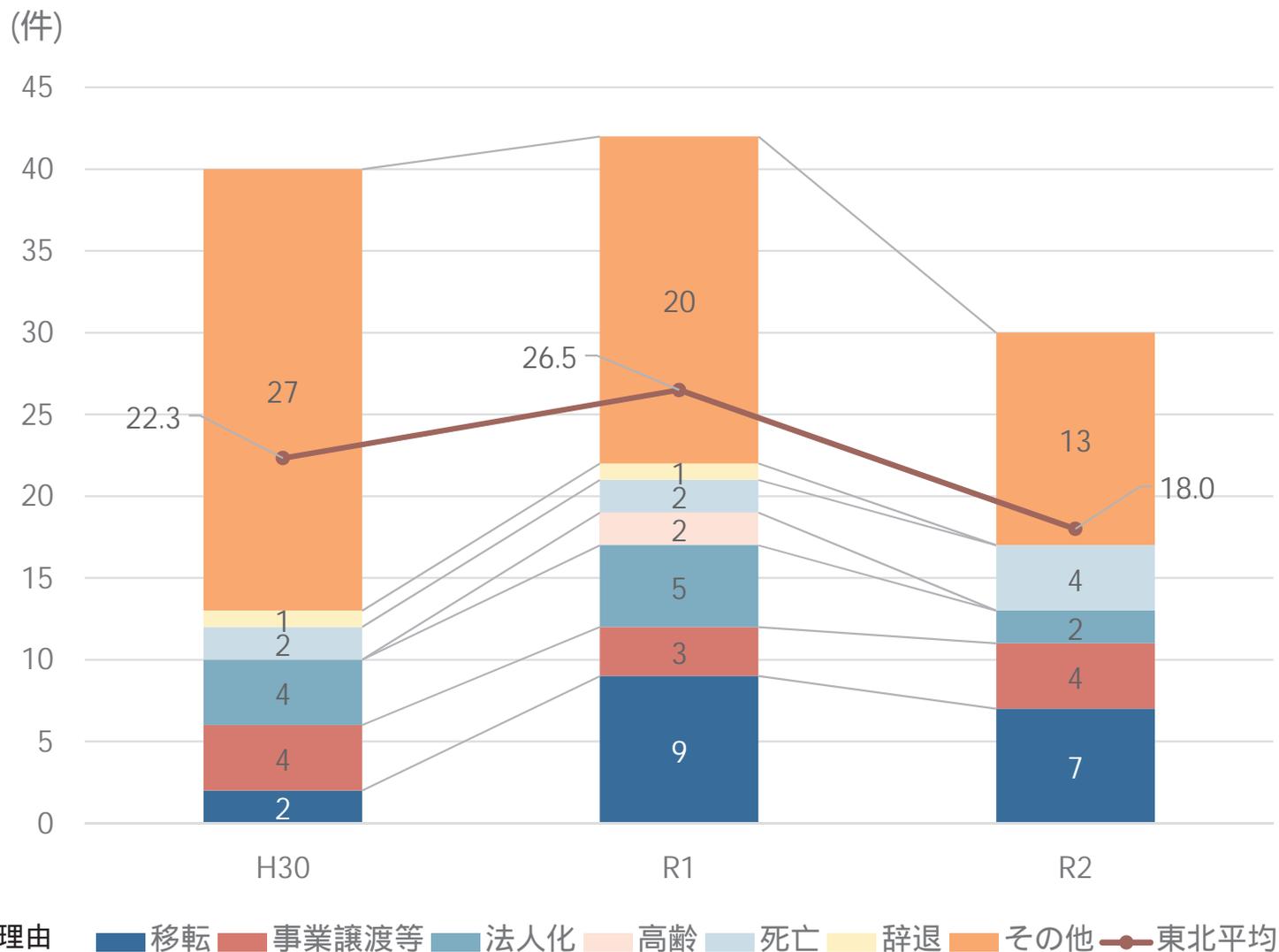
宮城県

歯科（廃止等）

分析結果

- 宮城県内における廃止等機関数は平成30年度40件、令和元年度42件、令和2年度30件と上下しながら推移している。
- 宮城県においては、廃止等の理由として「その他」が最も多く、多様な理由で廃止に至っていることが推察される。次いで「移転」が多く、保険医療機関を廃止したものの、近隣において新規指定を受けていることが推察される。
- 宮城県の廃止等機関数は、東北平均を大きく上回っている。

宮城県内の廃止等保険医療機関（歯科）数の推移



宮城県

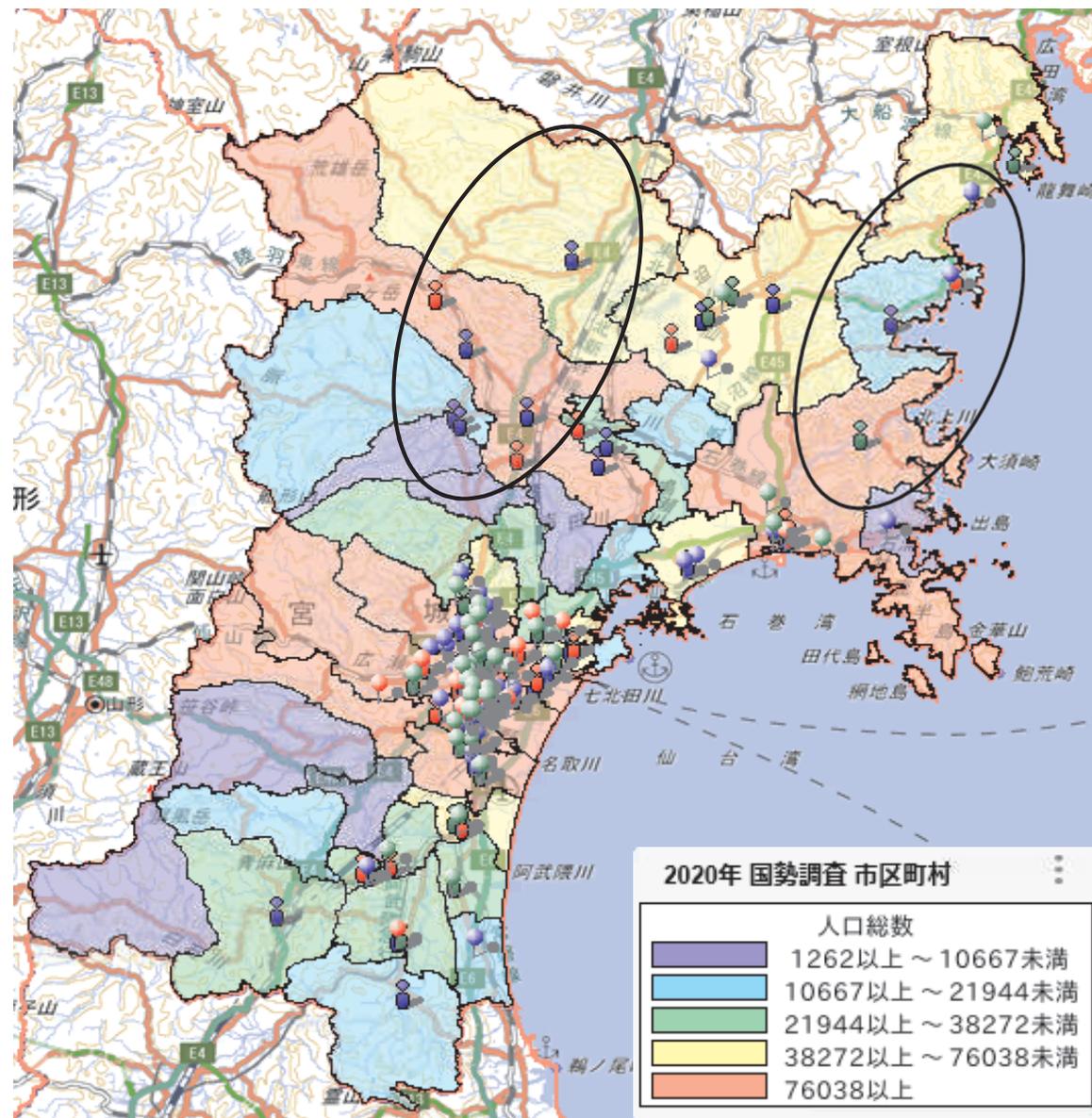
歯科（総合）

分析結果

- 宮城県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、新規指定機関は仙台市とその周辺部に集中しているのに対し、廃止等機関は県内の各所に幅広く分布していることがわかる。
- 特に宮城県北部の山間部や沿岸部の地域においては、新規指定機関がほとんど確認できないにもかかわらず、廃止等機関は多数確認できることから、同地域における保険医療機関の減少が懸念される。



宮城県内の新規指定・廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数



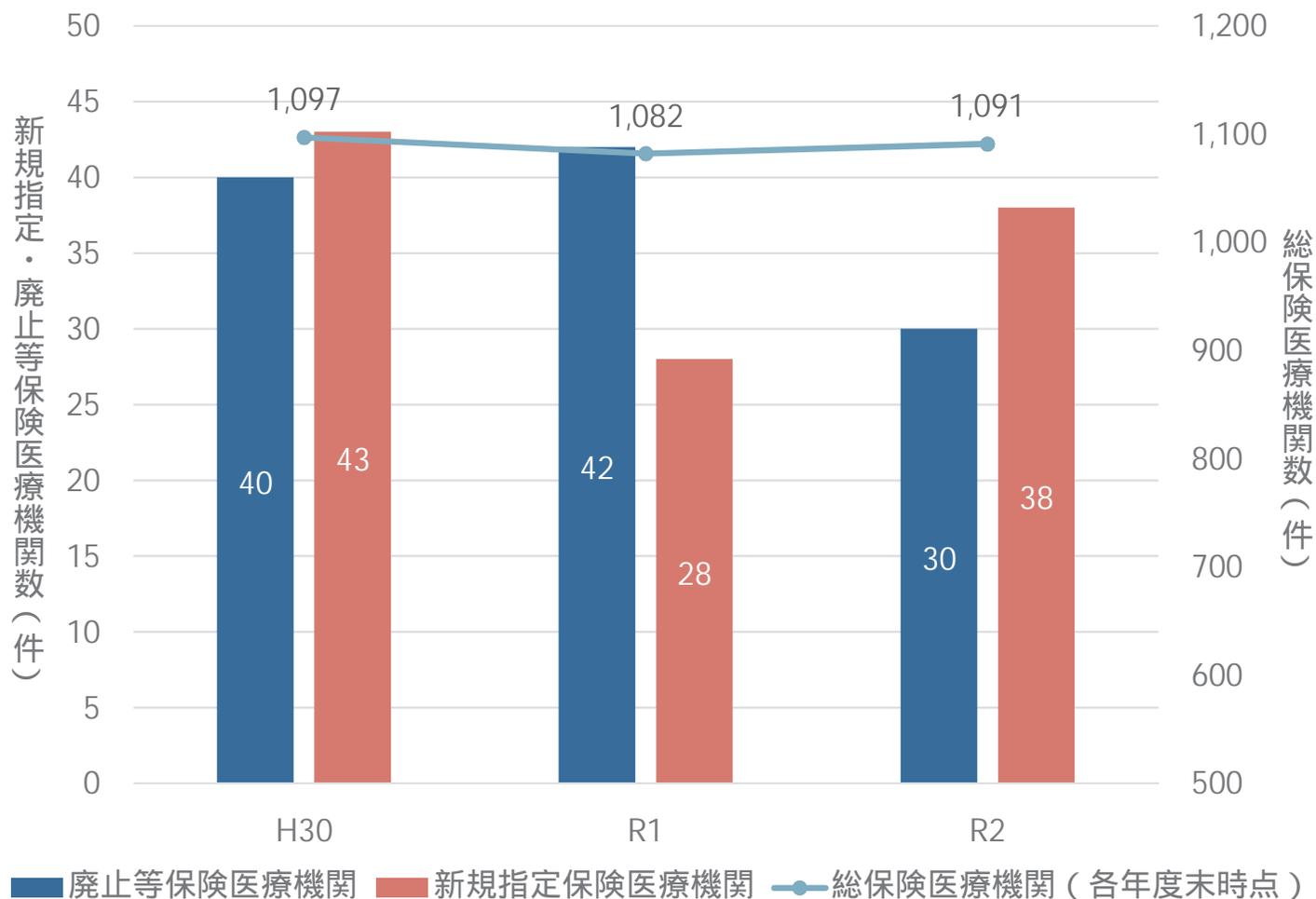
宮城県

歯科（総合）

分析結果

- 宮城県内における保険医療機関の総数は、平成30年度1,097件、令和元年度1,082件、令和2年度1,091件とおおむね同程度の件数で推移している。
- 令和2年度は新規指定機関数が廃止等機関数を上回ったが、人口が少ない地域において、新規指定機関が少ない一方で廃止等機関が多く、人口集中地域である仙台市周辺へ集中する傾向がある。

宮城県内の新規指定・廃止等保険医療機関（歯科）数と
総保険医療機関（歯科）数の推移





宮城県（指導監査課）

調剤



宮城県

調剤(新規指定)

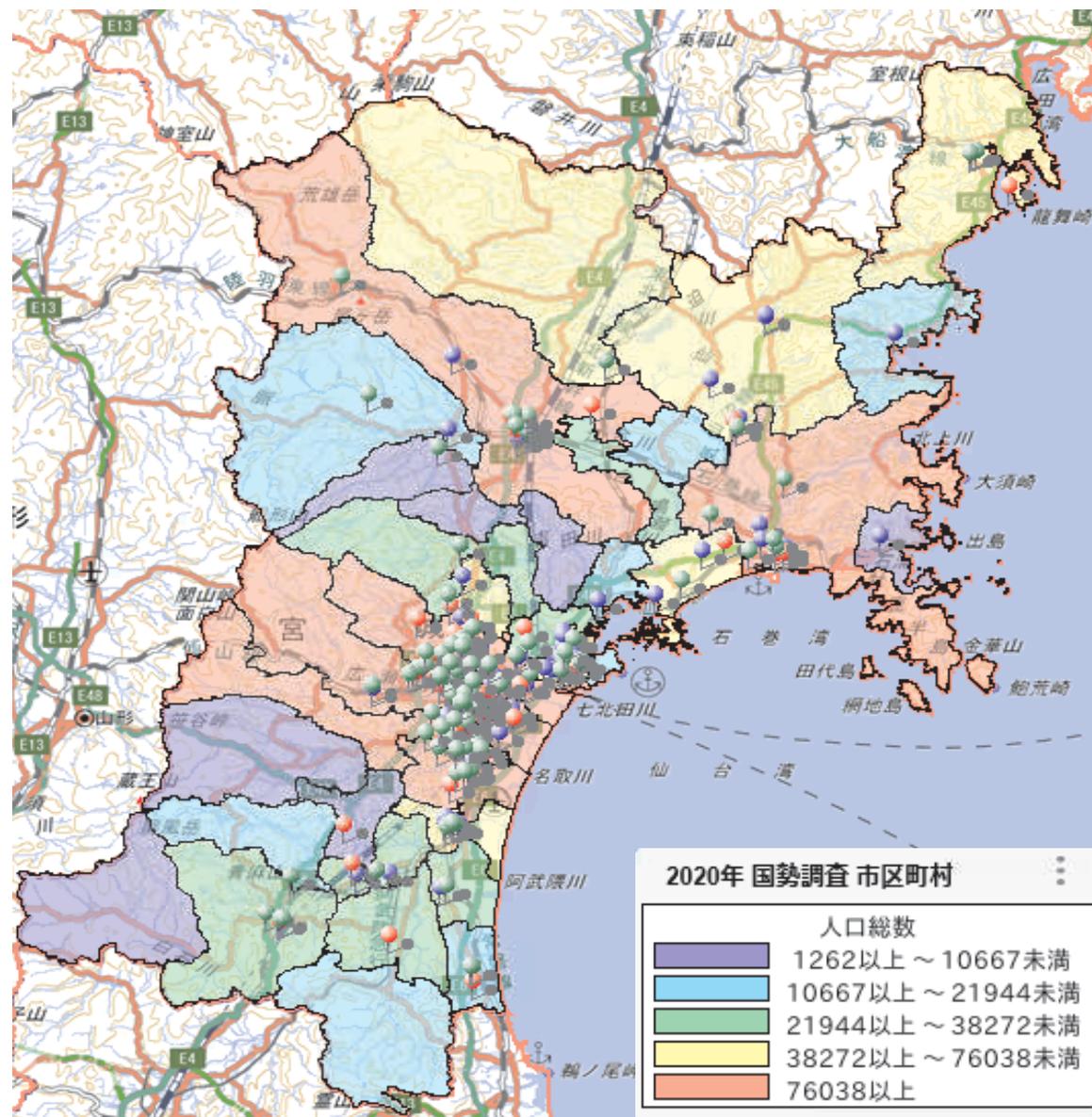
分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の新規指定機関は、宮城県の人口集中地域である仙台市に集中している。医科や歯科に比較すると、保険薬局は県内の各所に幅広く新規指定機関が確認できる。
- 宮城県北部の自治体においては各自治体に幅広く新規指定機関が見られ、沿岸部だけでなく、山間部にも新規指定機関が確認できる。
- 宮城県南部の自治体においては、人口総数が少なく、新規指定機関も少ない。特に山間部の自治体には新規指定機関がない自治体もある。

新規指定保険薬局

- : 平成30年度
- : 令和元年度
- : 令和2年度

宮城県内の新規指定保険薬局指定状況及び県内の人口総数



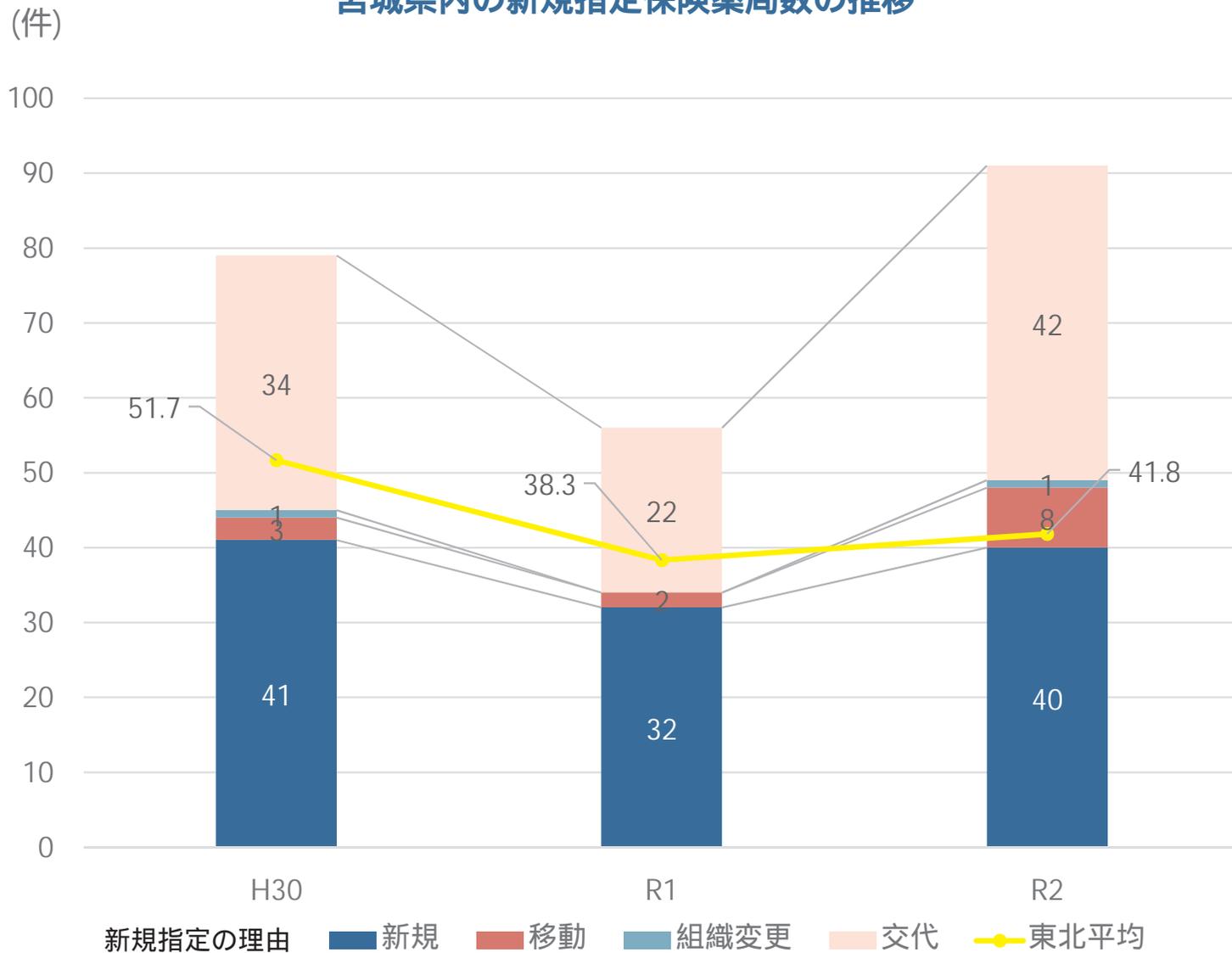
宮城県

調剤(新規指定)

分析結果

- 宮城県内における新規指定機関数は、平成30年度79件、令和元年度56件、令和2年度91件と隔年で大きく件数が上下しつつ推移している。
- 宮城県の新規指定機関数は、東北平均を大きく上回っている。

宮城県内の新規指定保険薬局数の推移



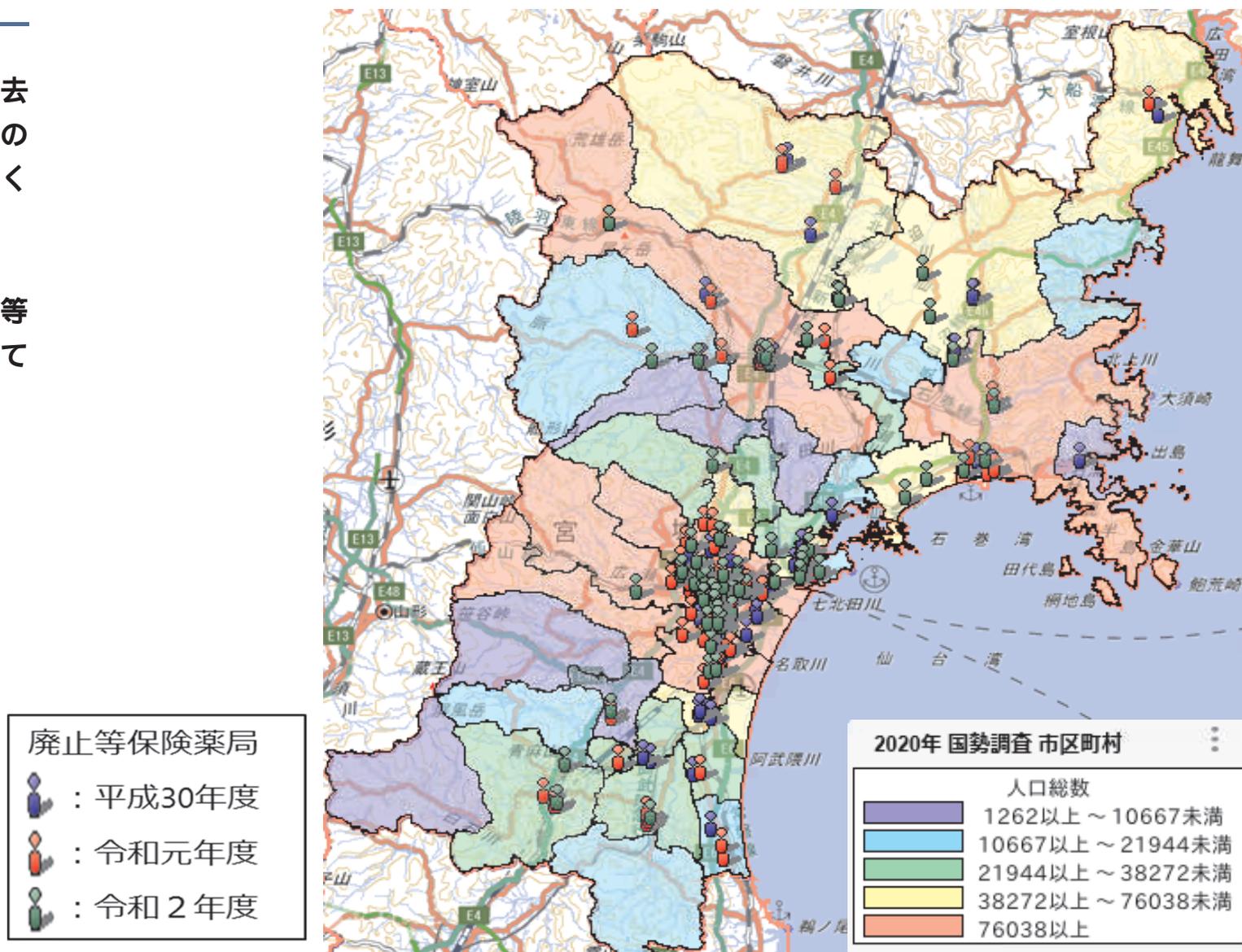
宮城県

調剤（廃止等）

分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の廃止等機関は、人口総数の多少に関わらず宮城県内各地に幅広く確認できる。
- 保険薬局は、新規指定機関、廃止等機関ともに県内各所に幅広く存在しており、地域偏在はない。

宮城県内の廃止等保険薬局状況及び県内の人口総数



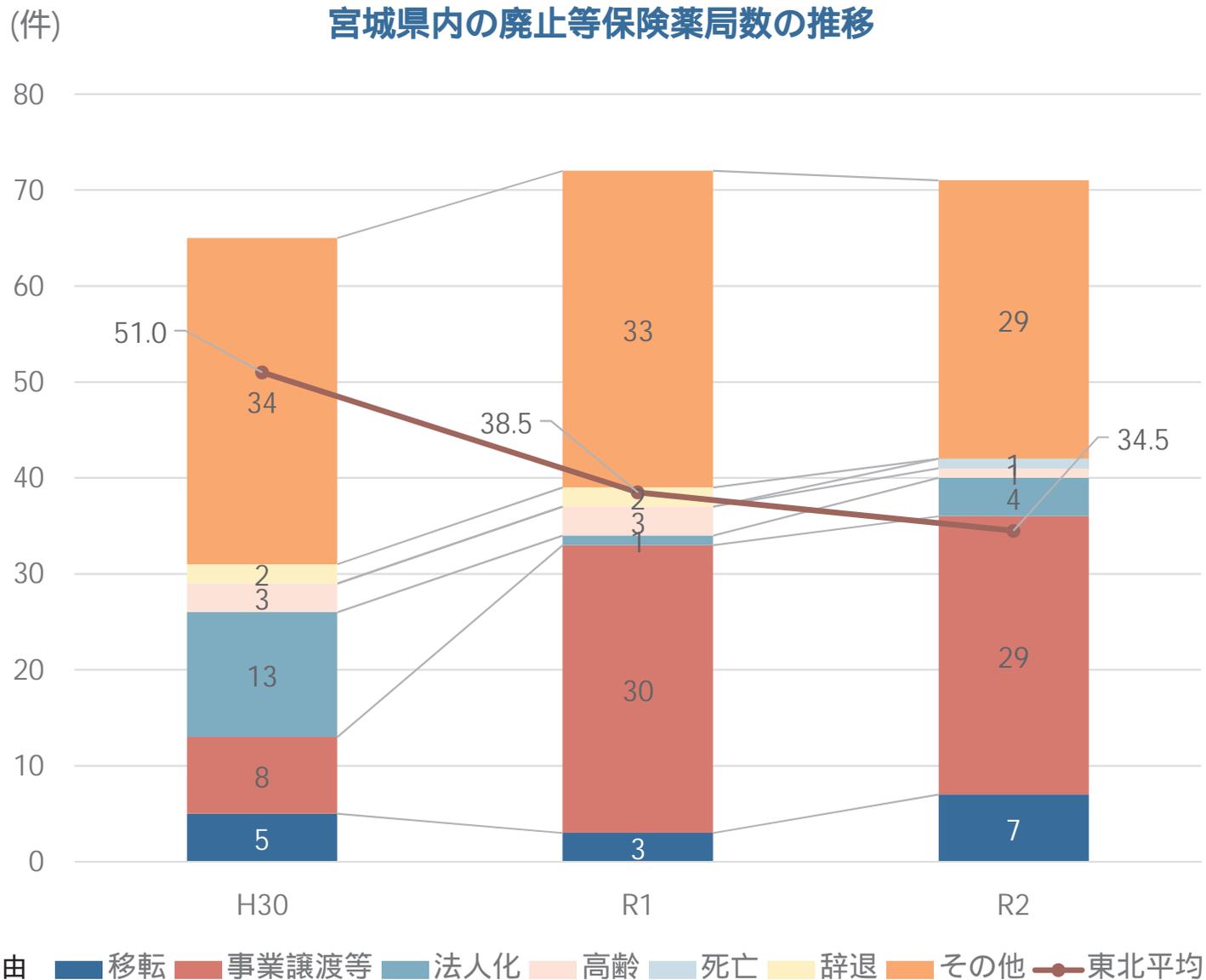
宮城県

調剤（廃止等）

分析結果

- 宮城県内における廃止等機関数は、平成30年度65件、令和元年度72件、令和2年度71件と概ね同程度で推移している。
- 宮城県においては、廃止等の理由として「その他」が最も多く、多様な理由で廃止に至っていることが推察される。次いで「事業譲渡」が多く、保険薬局の経営主体が株式会社等であることが多いため、事業都合による廃止が多いものと推察される。
- 宮城県の廃止等機関数は、東北平均を大きく上回っている。

宮城県内の廃止等保険薬局数の推移

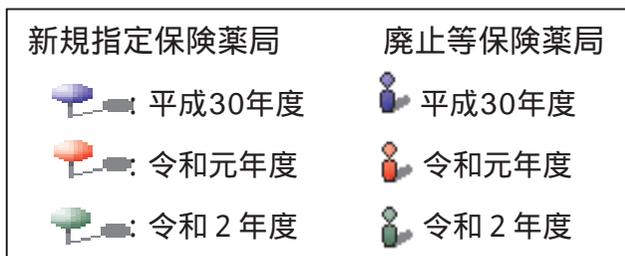


宮城県

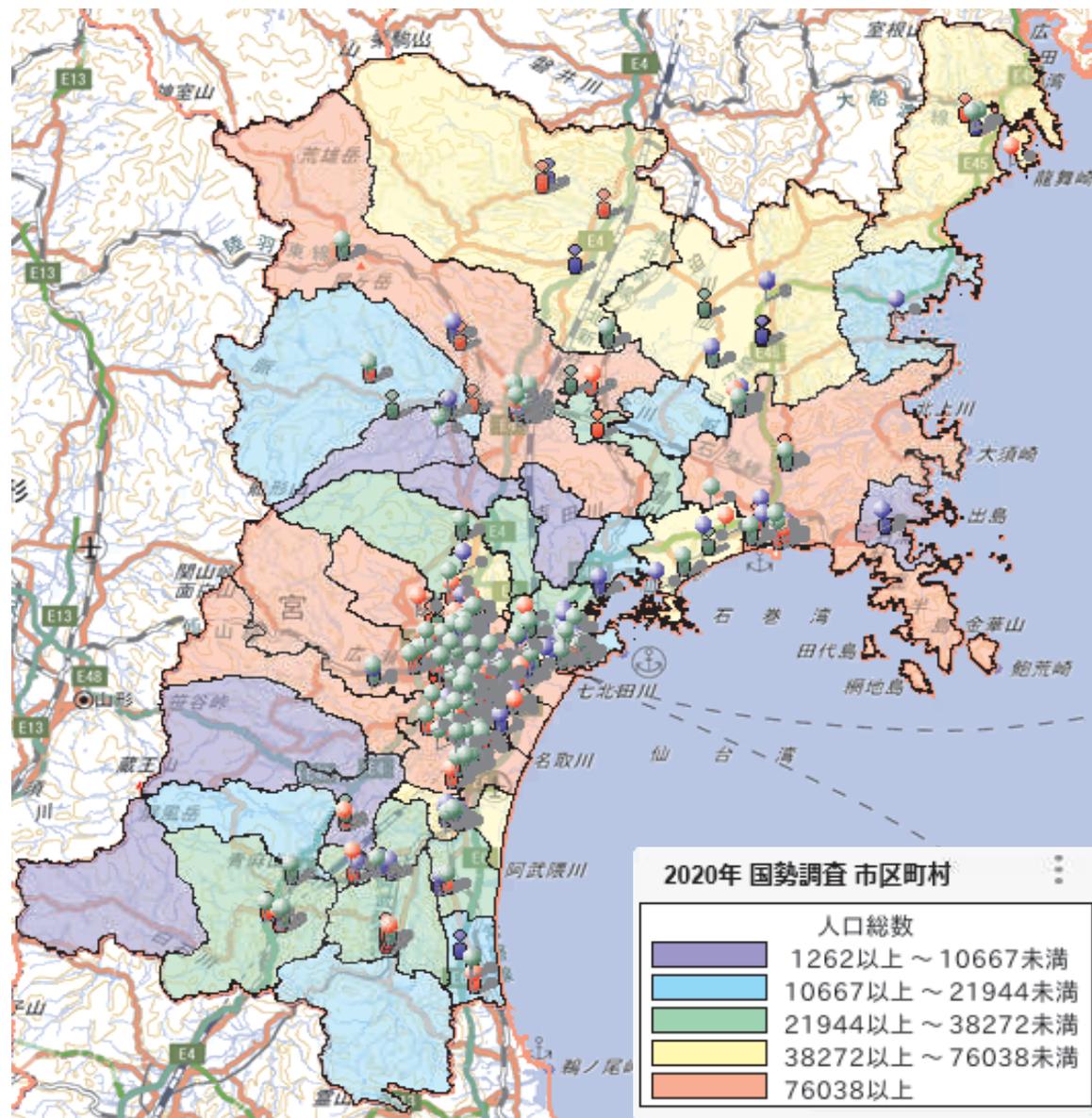
調剤（総合）

分析結果

- 宮城県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、概ね新規指定機関と廃止等機関が重なるものが多く、地域内の保険薬局数に変動は少ないと推察される。
- 医科及び歯科と比較すると、幅広く分布しているものの、仙台市及びその周辺部に新規指定機関が集中し、廃止等機関は県全域に確認で確認できることから、仙台市及びその周辺部への偏在していく傾向が推察される。



宮城県内の新規指定・廃止等保険薬局状況及び県内の人口総数



宮城県

調剤（総合）

分析結果

- 宮城県内における保険薬局の総数は、平成30年度1,133件、令和元年度1,117件、令和2年度1,137件とおおむね同程度の件数で推移している。
- 令和元年度に廃止等機関数が新規指定機関数を上回ったものの、令和2年度において新規指定機関数が大幅に増加したことにより、総保険薬局数も増加している。
- 総保険薬局数は概ね同程度で推移しており、県内各地への幅広い保険薬局の分布が確認された。

宮城県内の新規指定・廃止等保険薬局数と総保険薬局数の推移

